

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2010年8月26日～2025年8月7日	
運用方針	HSBC インドネシア債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にインドネシア共和国（「インドネシア」）の債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC インドネシア債券オープン（毎月決算型）	HSBC インドネシア債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC インドネシア債券マザーファンド	主に、インドネシアの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	HSBC インドネシア債券オープン（毎月決算型）	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	HSBC インドネシア債券マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年12回の決算時（毎月7日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

HSBC インドネシア債券 オープン(毎月決算型)

運用報告書（全体版）

第127期	（決算日	2021年3月8日）
第128期	（決算日	2021年4月7日）
第129期	（決算日	2021年5月7日）
第130期	（決算日	2021年6月7日）
第131期	（決算日	2021年7月7日）
第132期	（決算日	2021年8月10日）

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC インドネシア債券オープン（毎月決算型）」は、2021年8月10日に第132期の決算を行いましたので、第127期～第132期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBC投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング
 ≪お問い合わせ先（投信営業本部）≫
 電話番号：03-3548-5690
 （営業日の午前9時～午後5時）
 ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落					
	円		円		%		%	百万円	
103期(2019年3月7日)	5,241		25		0.2	98.0	—	28,925	
104期(2019年4月8日)	5,318		25		1.9	98.4	—	29,069	
105期(2019年5月7日)	5,135		25	△	3.0	97.8	—	27,850	
106期(2019年6月7日)	4,985		25	△	2.4	98.5	—	26,883	
107期(2019年7月8日)	5,288		25		6.6	98.4	—	28,346	
108期(2019年8月7日)	5,033		25	△	4.3	98.2	—	26,500	
109期(2019年9月9日)	5,163		25		3.1	98.1	—	27,050	
110期(2019年10月7日)	5,188		25		1.0	98.3	—	26,928	
111期(2019年11月7日)	5,400		25		4.6	97.7	—	27,297	
112期(2019年12月9日)	5,343		25	△	0.6	98.6	—	26,327	
113期(2020年1月7日)	5,340		25		0.4	98.2	—	25,602	
114期(2020年2月7日)	5,661		25		6.5	97.9	—	25,928	
115期(2020年3月9日)	4,995		25	△	11.3	98.1	—	22,222	
116期(2020年4月7日)	4,264		25	△	14.1	98.0	—	18,845	
117期(2020年5月7日)	4,556		25		7.4	97.7	—	20,050	
118期(2020年6月8日)	5,290		25		16.7	98.3	—	23,076	
119期(2020年7月7日)	5,022		25	△	4.6	98.4	—	21,552	
120期(2020年8月7日)	5,000		25		0.1	98.0	—	21,139	
121期(2020年9月7日)	4,920		25	△	1.1	97.6	—	20,503	
122期(2020年10月7日)	4,877		25	△	0.4	98.4	—	20,043	
123期(2020年11月9日)	5,044		25		3.9	97.0	—	20,127	
124期(2020年12月7日)	5,183		25		3.3	98.3	—	19,918	
125期(2021年1月7日)	5,203		25		0.9	98.6	—	19,366	
126期(2021年2月8日)	5,295		25		2.2	98.2	—	19,166	
127期(2021年3月8日)	5,135		25	△	2.5	97.5	—	18,264	
128期(2021年4月7日)	5,132		25		0.4	97.9	—	17,958	
129期(2021年5月7日)	5,237		25		2.5	97.8	—	17,940	
130期(2021年6月7日)	5,260		20		0.8	98.1	—	17,607	
131期(2021年7月7日)	5,233		20	△	0.1	98.8	—	16,961	
132期(2021年8月10日)	5,292		20		1.5	97.9	—	16,812	

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、動向きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	率			
第127期	(期 首) 2021年2月8日	円		%	%		%
	2月末	5,295		—	98.2		—
	(期 末) 2021年3月8日	5,183		△2.1	97.7		—
第128期	(期 首) 2021年3月8日	5,160		△2.5	97.5		—
	3月末	5,135		—	97.5		—
	(期 末) 2021年4月7日	5,186		1.0	97.7		—
第129期	(期 首) 2021年4月7日	5,157		0.4	97.9		—
	4月末	5,132		—	97.9		—
	(期 末) 2021年5月7日	5,176		0.9	97.4		—
第130期	(期 首) 2021年5月7日	5,262		2.5	97.8		—
	5月末	5,237		—	97.8		—
	(期 末) 2021年6月7日	5,255		0.3	98.4		—
第131期	(期 首) 2021年6月7日	5,280		0.8	98.1		—
	6月末	5,260		—	98.1		—
	(期 末) 2021年7月7日	5,245		△0.3	97.6		—
第132期	(期 首) 2021年7月7日	5,253		△0.1	98.8		—
	7月末	5,233		—	98.8		—
	(期 末) 2021年8月10日	5,224		△0.2	98.6		—
		5,312		1.5	97.9		—

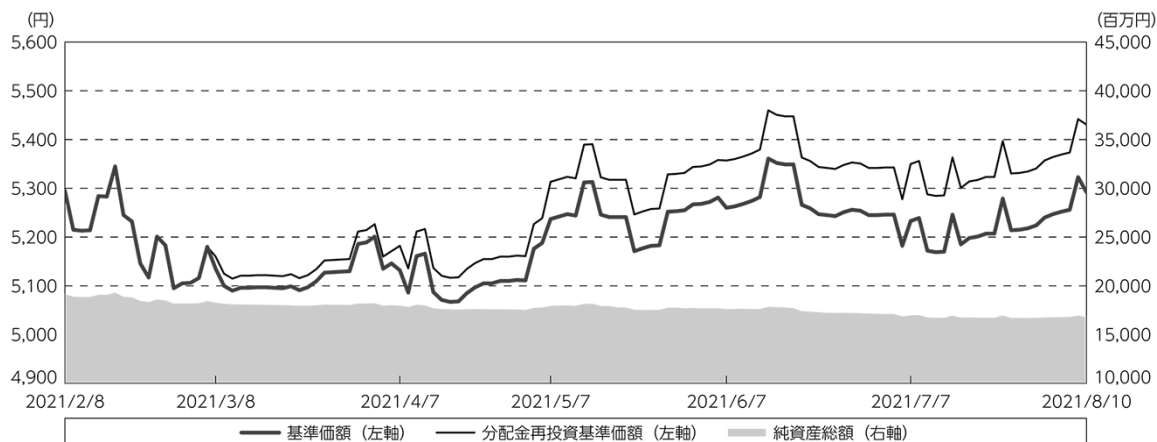
(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第127期～第132期：2021年2月9日～2021年8月10日）



第127期首：5,295円

第132期末：5,292円（既払分配金（税込み）：135円）

騰落率：2.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2021年2月8日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の価格が総じて小幅に上昇（利回りは総じて小幅に低下）および利子収入がプラスに寄与しました。また、インドネシアルピアが対円で小幅に上昇したこともプラスに働きました。

投資環境について

【債券市況】

インドネシア債券市場は、作成期初から2021年3月半ば頃までは下落(利回りは上昇)しました。主として、米国の長期金利の大幅な上昇がマイナス要因となりました。その後、作成期末にかけては上昇(利回りは低下)基調をたどりました。米国の長期金利の落ち着き、インドネシアにおけるインフレ率の低位安定、インドネシア銀行(中央銀行)による潤沢な流動性の供給などが追い風となりました。

【為替相場】

インドネシアルピアは対円で、作成期を通じて、上下動を繰り返しながらも値を上げる展開となりました。中央銀行の通貨および金融市場の安定を重視する姿勢に加えて、円安・米ドル高の流れもインドネシアルピアの対円相場の上昇要因となりました。

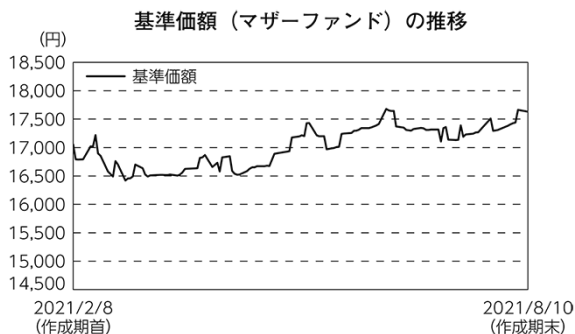
ポートフォリオについて

<HSBC インドネシア債券オープン(毎月決算型)>

「HSBC インドネシア債券マザーファンド」への投資を通じて、主にインドネシア政府が発行する現地通貨建債券に投資しました。

<HSBC インドネシア債券マザーファンド>

引き続き中・長期国債を中心に投資しました。債券の組入比率は、残存期間1年以上～10年未満の債券が62～67%、10年以上の債券は32～37%としました。なお、作成期を通じて、組入債券のデュレーションは5.5～5.9年程度に維持しました。



ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

分配金について

第127期から第132期における分配金は、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期	第132期
	2021年2月9日～ 2021年3月8日	2021年3月9日～ 2021年4月7日	2021年4月8日～ 2021年5月7日	2021年5月8日～ 2021年6月7日	2021年6月8日～ 2021年7月7日	2021年7月8日～ 2021年8月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	25 0.484%	25 0.485%	25 0.475%	20 0.379%	20 0.381%	20 0.377%
当期の収益	16	17	22	20	17	20
当期の収益以外	8	7	2	—	2	—
翌期繰越分配対象額	358	351	349	350	348	361

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

世界経済は拡大局面に入っているものの、拡大のペースは国および地域により異なり、新型コロナウイルスのワクチンの普及や政策支援に左右されると考えられます。こうした中、インドネシアでは景気下支えに向けて、適宜適切に政策対応を取ると見られています。また、インドネシアのインフレ率が低位安定で推移する中、同国の比較的高い債券利回りは引き続き妙味があると思われれます。一方、インドネシアを含めた世界の新型コロナウイルスの感染者数の動向およびインドネシア国債の需給状況には引き続き注視していきます。

<HSBC インドネシア債券オープン(毎月決算型)>

「HSBC インドネシア債券マザーファンド」への投資を通じて、主にインドネシアの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<HSBC インドネシア債券マザーファンド>

引き続き中・長期国債の組入比率を高め維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年2月9日～2021年8月10日)

項 目	第127期～第132期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 45	% 0.855	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(23)	(0.441)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
（ 販 売 会 社 ）	(20)	(0.386)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	18	0.352	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.048)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（ そ の 他 ）	(15)	(0.301)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	63	1.207	
作成期中の平均基準価額は、5,211円です。			

(注) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

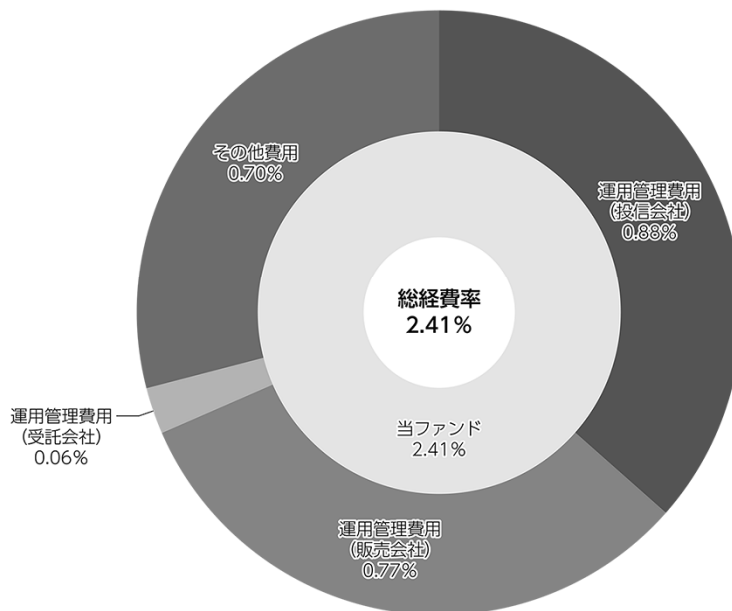
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 「(b)その他費用」の「(その他)」には、債券売却時に支払った外国税（1万口当たり15円）が含まれます。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口あたり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.41%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年2月9日～2021年8月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第127期～第132期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
HSBC	インドネシア債券マザーファンド	229,992	389,130	1,953,392	3,325,453

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年2月9日～2021年8月10日)

利害関係人との取引状況

<HSBC インドネシア債券オープン（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<HSBC インドネシア債券マザーファンド>

区 分	第127期～第132期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 7,459	百万円 —	% —	百万円 10,357	百万円 445	% 4.3

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

○組入資産の明細

(2021年8月10日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第126期末	第132期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
HSBC	インドネシア債券マザーファンド	11,311,286	9,587,886	16,905,361

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年8月10日現在)

項 目	第132期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
HSBC インドネシア債券マザーファンド	16,905,361	99.3
コール・ローン等、その他	111,805	0.7
投資信託財産総額	17,017,166	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) HSBC インドネシア債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（16,919,748千円）の投資信託財産総額（17,018,755千円）に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=110.36円、100インドネシアルピア=0.77円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末	第131期末	第132期末
	2021年3月8日現在	2021年4月7日現在	2021年5月7日現在	2021年6月7日現在	2021年7月7日現在	2021年8月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	18,425,690,972	18,100,532,882	18,135,481,691	17,803,674,053	17,181,279,522	17,017,166,929
HSBC インドネシア債券マザーファンド(評価額)	18,377,879,984	18,072,136,334	18,051,673,961	17,701,730,327	17,052,581,108	16,905,361,489
未収入金	47,810,988	28,396,548	83,807,730	101,943,726	128,698,414	111,805,440
(B) 負債	161,492,463	141,933,331	195,344,794	196,141,570	219,714,783	204,221,616
未払収益分配金	88,919,494	87,481,035	85,635,559	66,944,624	64,828,279	63,534,997
未払解約金	47,810,988	28,396,548	83,807,730	101,943,726	128,698,414	111,805,440
未払信託報酬	24,404,159	25,326,580	24,808,584	25,782,270	24,359,966	26,662,124
その他未払費用	357,822	729,168	1,092,921	1,470,950	1,828,124	2,219,055
(C) 純資産総額(A-B)	18,264,198,509	17,958,599,551	17,940,136,897	17,607,532,483	16,961,564,739	16,812,945,313
元本	35,567,797,663	34,992,414,046	34,254,223,875	33,472,312,448	32,414,139,935	31,767,498,509
次期繰越損益金	△17,303,599,154	△17,033,814,495	△16,314,086,978	△15,864,779,965	△15,452,575,196	△14,954,553,196
(D) 受益権総口数	35,567,797,663口	34,992,414,046口	34,254,223,875口	33,472,312,448口	32,414,139,935口	31,767,498,509口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,135円	5,132円	5,237円	5,260円	5,233円	5,292円

(注) 当ファンドの第127期元本額は36,195,670,450円、第127～132期中追加設定元本額は749,662,772円、第127～132期中一部解約元本額は5,177,834,713円です。

(注) また、1口当たり純資産額は、第127期0.5135円、第128期0.5132円、第129期0.5237円、第130期0.5260円、第131期0.5233円、第132期0.5292円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

○損益の状況

項 目	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期	第132期
	2021年2月9日～ 2021年3月8日	2021年3月9日～ 2021年4月7日	2021年4月8日～ 2021年5月7日	2021年5月8日～ 2021年6月7日	2021年6月8日～ 2021年7月7日	2021年7月8日～ 2021年8月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 456,892,585	102,123,640	470,126,691	169,100,149	△ 1,376,459	279,570,540
売買益	6,095,243	116,701,246	486,159,004	173,596,360	9,741,968	291,851,978
売買損	△ 462,987,828	△ 14,577,606	△ 16,032,313	△ 4,496,211	△ 11,118,427	△ 12,281,438
(B) 信託報酬等	△ 24,761,981	△ 25,697,926	△ 25,172,337	△ 26,160,299	△ 24,717,140	△ 27,053,055
(C) 当期損益金(A+B)	△ 481,654,566	76,425,714	444,954,354	142,939,850	△ 26,093,599	252,517,485
(D) 前期繰越損益金	△ 3,408,073,391	△ 3,894,911,521	△ 3,802,858,816	△ 3,353,584,578	△ 3,161,960,523	△ 3,179,066,936
(E) 追加信託差損益金	△13,324,951,703	△13,127,847,653	△12,870,546,957	△12,587,190,613	△12,199,692,795	△11,964,468,748
(配当等相当額)	(1,084,478,951)	(1,067,949,050)	(1,046,503,412)	(1,023,336,451)	(991,659,574)	(972,424,056)
(売買損益相当額)	(△14,409,430,654)	(△14,195,796,703)	(△13,917,050,369)	(△13,610,527,064)	(△13,191,352,369)	(△12,936,892,804)
(F) 計(C+D+E)	△17,214,679,660	△16,946,333,460	△16,228,451,419	△15,797,835,341	△15,387,746,917	△14,891,018,199
(G) 収益分配金	△ 88,919,494	△ 87,481,035	△ 85,635,559	△ 66,944,624	△ 64,828,279	△ 63,534,997
次期繰越損益金(F+G)	△17,303,599,154	△17,033,814,495	△16,314,086,978	△15,864,779,965	△15,452,575,196	△14,954,553,196
追加信託差損益金	△13,324,951,703	△13,127,847,653	△12,870,546,957	△12,587,190,613	△12,199,692,795	△11,964,468,748
(配当等相当額)	(1,084,613,204)	(1,068,224,236)	(1,046,778,300)	(1,023,525,492)	(991,868,225)	(972,568,983)
(売買損益相当額)	(△14,409,564,907)	(△14,196,071,889)	(△13,917,325,257)	(△13,610,716,105)	(△13,191,561,020)	(△12,937,037,731)
分配準備積立金	190,611,726	162,357,075	150,323,358	150,585,777	138,092,953	174,589,016
繰越損益金	△ 4,169,259,177	△ 4,068,323,917	△ 3,593,863,379	△ 3,428,175,129	△ 3,390,975,354	△ 3,164,673,464

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第127期計算期間末における費用控除後の配当等収益(57,411,120円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,084,613,204円)および分配準備積立金(222,120,100円)より分配対象収益は1,364,144,424円(10,000口当たり383円)であり、うち88,919,494円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第128期計算期間末における費用控除後の配当等収益(62,188,142円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,068,224,236円)および分配準備積立金(187,649,968円)より分配対象収益は1,318,062,346円(10,000口当たり376円)であり、うち87,481,035円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第129期計算期間末における費用控除後の配当等収益(76,645,002円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,046,778,300円)および分配準備積立金(159,313,915円)より分配対象収益は1,282,737,217円(10,000口当たり374円)であり、うち85,635,559円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。

(注) 第130期計算期間末における費用控除後の配当等収益(70,075,937円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,023,525,492円)および分配準備積立金(147,454,464円)より分配対象収益は1,241,055,893円(10,000口当たり370円)であり、うち66,944,624円(10,000口当たり20円)を分配金額としております。

(注) 第131期計算期間末における費用控除後の配当等収益(56,225,633円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(991,868,225円)および分配準備積立金(146,695,599円)より分配対象収益は1,194,789,457円(10,000口当たり368円)であり、うち64,828,279円(10,000口当たり20円)を分配金額としております。

(注) 第132期計算期間末における費用控除後の配当等収益(102,273,533円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(972,568,983円)および分配準備積立金(135,850,480円)より分配対象収益は1,210,692,996円(10,000口当たり381円)であり、うち63,534,997円(10,000口当たり20円)を分配金額としております。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、22,191,253円です。

○分配金のお知らせ

	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期	第132期
1万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	20円	20円	20円

◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。

◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。

普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。

元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分（特別分配金）は普通分配となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○お知らせ

<約款変更のお知らせ>

ありません。

<その他のお知らせ>

HSBC投信株式会社は、2021年11月1日付けで、商号を「HSBCアセットマネジメント株式会社」に変更します。

◆親投資信託「HSBC インドネシア債券マザーファンド」の運用状況
第11期（2020年8月8日～2021年8月10日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主にインドネシアの債券等に投資することにより、安定したインカムゲインの確保とともに、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主に、インドネシアの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	円	騰落率			
7期(2017年8月7日)	14,810	11.7%	97.1%	—	43,836
8期(2018年8月7日)	13,742	△7.2	97.2	—	31,974
9期(2019年8月7日)	14,475	5.3	97.6	—	26,674
10期(2020年8月7日)	15,506	7.1	97.3	—	21,278
11期(2021年8月10日)	17,632	13.7	97.4	—	16,905

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

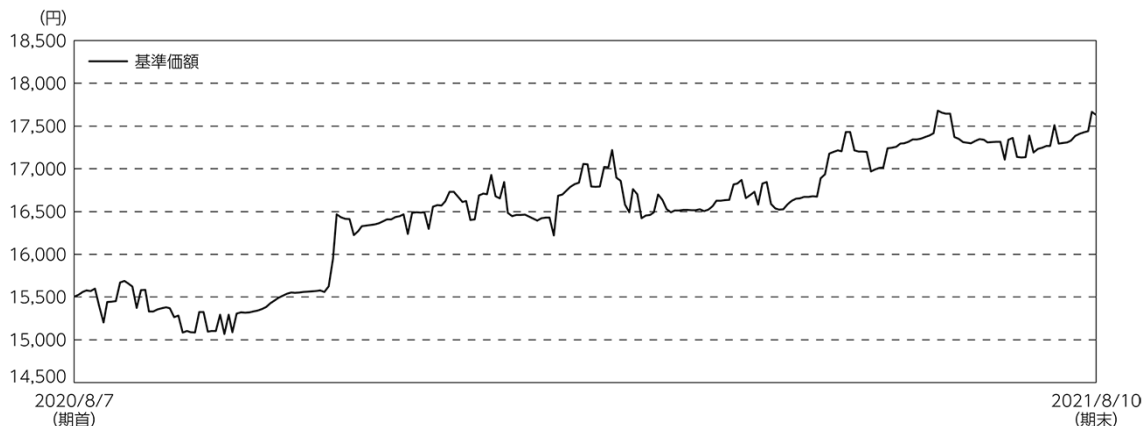
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落	率			
(期 首) 2020年8月7日	円 15,506		% —		% 97.3	% —
8月末	15,373	△	0.9	97.2	—	—
9月末	15,295	△	1.4	97.4	—	—
10月末	15,566		0.4	97.2	—	—
11月末	16,407		5.8	98.7	—	—
12月末	16,710		7.8	98.1	—	—
2021年1月末	16,698		7.7	97.7	—	—
2月末	16,702		7.7	97.6	—	—
3月末	16,818		8.5	97.6	—	—
4月末	16,891		8.9	97.3	—	—
5月末	17,255		11.3	98.2	—	—
6月末	17,310		11.6	97.5	—	—
7月末	17,330		11.8	98.5	—	—
(期 末) 2021年8月10日	17,632		13.7	97.4	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第11期：2020年8月8日～2021年8月10日）



基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

組入銘柄の価格上昇（利回りは低下）および利子収入がプラスに寄与しました。また、インドネシアルピアが対円で上昇したこともプラスに働きました。

投資環境について

【債券市況】

インドネシア債券市場は、期初から2020年12月末にかけては上昇（利回りは低下）基調となりました。主要国の金融緩和の流れ、投資家のリスク選好度の高まり、国内ではインフレ率の落ち着きなどが追い風となりました。その後、2021年1月から3月半ばまでは下落（利回りは上昇）しました。米国長期金利の上昇、国内ではインドネシア国債の増発による先行きの需給悪化懸念、新型コロナウイルスの感染を巡る不透明感などがマイナス要因となりました。3月下旬から期末にかけては、再び上昇（利回りは低下）基調となりました。米国の長期金利の落ち着き、インドネシアにおけるインフレ率の低位安定、インドネシア銀行（中央銀行）による潤沢な流動性の供給などが追い風となりました。

【為替相場】

インドネシアルピアは対円で、期を通じて、上下動を繰り返しながらも、上昇基調となりました。雇用創出オムニバス法の成立（2020年11月2日）に伴う外国直接投資増大への期待、中央銀行の通貨および金融市場の安定を重視する姿勢、また2021年以降は円安・米ドル高の流れもインドネシアルピアの対円相場にとって追い風となりました。

ポートフォリオについて

引き続き中・長期国債を中心に投資しました。債券の組入比率は、残存期間1年以上～10年未満の債券が50～67%、10年以上の債券は32～49%としました。なお、期を通じて、組入債券のデュレーションは5.5～6.4年程度に維持しました。

今後の運用方針

世界経済は拡大局面に入っているものの、拡大のペースは国および地域により異なり、新型コロナウイルスのワクチンの普及や政策支援に左右されると考えられます。こうした中、インドネシアでは景気下支えに向けて、適宜適切に政策対応を取ると見られています。また、インドネシアのインフレ率が低位安定で推移する中、同国の比較的高い債券利回りは引き続き妙味があると思われます。一方、インドネシアを含めた世界の新型コロナウイルスの感染者数の動向およびインドネシア国債の需給状況には引き続き注視していきます。

こうした中、引き続き中・長期国債の組入比率を高め維持する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年8月8日～2021年8月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 163	% 0.988	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(14)	(0.086)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(149)	(0.902)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	163	0.988	
期中の平均基準価額は、16,529円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 「(a)その他費用」の「(その他)」には、債券売却時に支払った外国税(1万口当たり149円)が含まれます。

○売買及び取引の状況

(2020年8月8日～2021年8月10日)

公社債

			買付額	売付額
外国	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア 829,109,750	千インドネシアルピア 1,608,154,240

(注) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年8月8日～2021年8月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	19,333	—	—	26,040	751	2.9

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド(東京)です。

○組入資産の明細

(2021年8月10日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
インドネシア	千インドネシアルピア 2,013,200,000	千インドネシアルピア 2,138,714,891	千円 16,468,104	% 97.4	% —	% 70.2	% 19.8	% 7.4
合 計	2,013,200,000	2,138,714,891	16,468,104	97.4	—	70.2	19.8	7.4

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 一印は組み入れなし。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
インドネシア		%	千インドネシアルピア	千インドネシアルピア	千円	
	国債証券					
	INDOGB 5.625% 05/15/2023	5.625	148,000,000	152,181,000	1,171,793	2023/5/15
	INDOGB 6.125% 05/15/2028	6.125	168,000,000	170,587,200	1,313,521	2028/5/15
	INDOGB 6.5% 02/15/2031	6.5	108,000,000	109,578,960	843,757	2031/2/15
	INDOGB 6.5% 06/15/2025	6.5	234,500,000	247,444,400	1,905,321	2025/6/15
	INDOGB 6.625% 05/15/2033	6.625	168,500,000	168,831,945	1,300,005	2033/5/15
	INDOGB 7% 05/15/2022	7.0	10,900,000	11,223,403	86,420	2022/5/15
	INDOGB 7% 05/15/2027	7.0	175,000,000	187,988,500	1,447,511	2027/5/15
	INDOGB 7% 09/15/2030	7.0	215,000,000	225,840,300	1,738,970	2030/9/15
	INDOGB 7.5% 05/15/2038	7.5	58,000,000	60,705,120	467,429	2038/5/15
	INDOGB 7.5% 06/15/2035	7.5	83,000,000	87,452,120	673,381	2035/6/15
	INDOGB 7.5% 08/15/2032	7.5	100,000,000	107,103,000	824,693	2032/8/15
	INDOGB 8.125% 05/15/2024	8.125	120,000,000	131,640,000	1,013,628	2024/5/15
	INDOGB 8.25% 05/15/2029	8.25	96,000,000	108,562,560	835,931	2029/5/15
	INDOGB 8.25% 06/15/2032	8.25	152,000,000	171,919,600	1,323,780	2032/6/15
	INDOGB 8.375% 03/15/2024	8.375	50,000,000	54,886,000	422,622	2024/3/15
	INDOGB 8.375% 03/15/2034	8.375	126,300,000	142,770,783	1,099,335	2034/3/15
合	計				16,468,104	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しております。

○投資信託財産の構成

(2021年8月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	16,468,104	96.8
コール・ローン等、その他	550,651	3.2
投資信託財産総額	17,018,755	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産 (16,919,748千円) の投資信託財産総額 (17,018,755千円) に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=110.36円、100インドネシアルピア=0.77円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年8月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	17,078,222,229
コール・ローン等	156,660,570
公社債(評価額)	16,468,104,660
未収入金	173,007,682
未収利息	259,370,364
前払費用	21,078,953
(B) 負債	172,655,572
未払金	60,849,911
未払解約金	111,805,440
未払利息	221
(C) 純資産総額(A-B)	16,905,566,657
元本	9,587,886,507
次期繰越損益金	7,317,680,150
(D) 受益権総口数	9,587,886,507口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,632円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

《注記事項》

※期首元本額	13,722,718,316円
期中追加設定元本額	505,493,907円
期中一部解約元本額	4,640,325,716円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額
 H S B C インドネシア債券オープン(毎月決算型) 9,587,886,507円

○損益の状況 (2020年8月8日～2021年8月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,130,920,970
受取利息	1,130,981,247
支払利息	△ 60,277
(B) 有価証券売買損益	1,486,424,939
売買益	1,731,748,813
売買損	△ 245,323,874
(C) 保管費用等	△ 193,236,382
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,424,109,527
(E) 前期繰越損益金	7,556,172,704
(F) 追加信託差損益金	324,087,428
(G) 解約差損益金	△ 2,986,689,509
(H) 計(D+E+F+G)	7,317,680,150
次期繰越損益金(H)	7,317,680,150

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

<約款変更のお知らせ>

ありません。

<その他のお知らせ>

H S B C 投信株式会社は、2021年11月1日付けで、商号を「H S B C アセットマネジメント株式会社」に変更します。